

# HAYABUSA

小惑星イトカワへの  
7年間60億kmの壮大な旅の末、  
「はやぶさ」が地球に持ち帰った  
カプセル(実物)を展示。



# 小惑星探査機 「はやぶさ」帰還カプセル」 博物館 十五周年記念企画

Space Frontier / MEF / JAXA · ISAS ©池下章裕

## 開催期間

**4月29日(金祝)~5月1日(日)**  
午前9時30分~午後5時

## 会場

かかみがはら航空宇宙科学博物館 特設会場  
観覧整理券と入館料(高校生以上500円)が必要です。  
(中学生以下は無料です)

各当日9:00~(午前の部)、12:30~(午後)  
玄関前にて、先着順にお渡します。なくなり次第終了となります。

- 整理券はお一人様1枚の配布。
- 整理券は当日の指定時間のみ有効
- 当日の観覧時間はお選びいただけません

**※撮影は禁止です!** (展示室内では、カメラ、ビデオ、携帯電話機器  
による一切の撮影をお断りします。)

- \*できるだけ多くの方に安全にご覧いただくため、ご理解ご協力をお願いします。
- \*期間中は博物館内展示場の見学及び屋外広場もご利用できます。
- \*入館券ご提示で当日限り再入館ができます。

- 主催 各務原市 ■後援 各務原市教育委員会 ■協力 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- 助成 とうしん地域振興協力基金

各務原市立  
**かかみがはら航空宇宙科学博物館**  
〒504-0924 岐阜県各務原市下切町5丁目1番地  
TEL058-386-8500(代) FAX058-386-9912  
URL <http://www.city.kakamigahara.lg.jp/museum/>  
e-mail [kokuuchu@city.kakamigahara.gifu.jp](mailto:kokuuchu@city.kakamigahara.gifu.jp)

- 交通 名鉄各務原線「各務原市役所前」駅下車  
市ふれあいバス「循環休日線」「東部南部線」で「航空宇宙科学博物館」下車
- 駐車場 700台(無料)

## 特別講演会

日時:4月29日(金)祝日 11:00から  
講演者:宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
技術参与・名誉教授 的川 泰宣 博士  
題目:「はやぶさについて」(仮定)  
先着100名(整理券が必要です。)

## ご案内図

期間中は博物館展示物の見学及び屋外広場を  
ご利用いただけます。  
また入館券をご提示で当日に限り再入館できます。



# 「はやぶさ帰還カプセル」

小惑星探査機「はやぶさ」

## 《背面ヒートシールド》



大気圏突入の熱から内部を守るためのシールドです。どのくらい高い温度になったかを知るために、貼られたテープが焼け残り、しまのように見えています。

はやぶさ帰還カプセルはここに納められています。

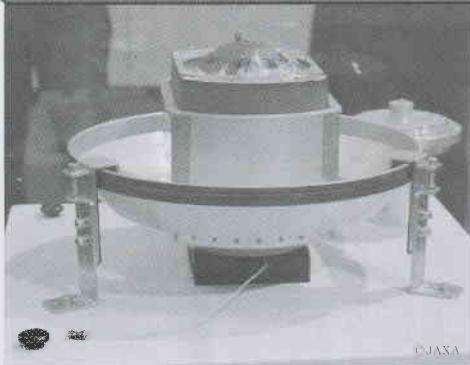
「はやぶさ」帰還カプセルのしくみ

## ★展示品 パラシュート



強く軽いポリエステル製の十字型をしており、開く時にかままないよう、すきまはメッシュになっています。(グレーの部分は電波反射素材)

## ★展示品 インstrumentモジュール



宇宙から帰還したカプセルの本体部分です。パラシュートはこの中にドーナツ状に収納され中央には小惑星のサンプルを納める筒状のサンプルコンテナがありました。

## 今回展示されているのは…

3億キロ離れた小惑星「イトカワ」まで行って帰ってきた「はやぶさ」の、地球に戻ってきた部分の実物のうち「インスツルメントモジュール」「搭載電子機器部」「パラシュート」の3つです。インスツルメントモジュールは、地球に戻ってきたカプセルのいわば大枠の部分です。ここに、サンプルを納めるサンプルコンテナや、電子機器などが収められていました。また前後を熱から守るヒートシールドで守られていました。

搭載電子機器部は、カプセルを操作するためのいわば「頭脳」にあたる部分です。大気圏に突入してある程度たったらパラシュートを開く、といったような動作を、この機器が自分でやってのけます。

パラシュートは、カプセルが最後に地上にふんわりと落下するためのものです。そのままの速度では地面に激突してカプセルがばらばらになるかも知れませんが、パラシュートがあることで、ゆっくりとしたスピードで着地できるのです。上空5kmで予定通りに開いています。

また、実際のカプセルとまったく同じものも展示されています。こちらは、地上での実験用に作られたもので、「はやぶさ」に取り付けられていたカプセルがどのようなものだったか、ある程度イメージがわくと思います。

## ★展示品 搭載電子機器部



パラシュートを開いたりカプセル発見のための電波を発信する頭脳のような部分です。衝撃に耐えられるよう樹脂で固められています。

## ★展示品 エンジニアリングモデル



地上で様々な実験に使われたものです。ヒートシールドは実機と同じ材料、形状で作られています。

## 《前面ヒートシールド》



大気圏突入の熱から内部を守るためのシールドです。この部分を先頭にして大気圏に突入しました。



おねがい

会場内では少しでも多くの方にご覧いただけるよう、立ち止まらないで下さい。また展示物の撮影はご遠慮下さい。

